

発行責任者 柳 利夫  
 住所 東村山市萩山町5-6-26-301  
 Tel. 0423-92-8808  
 編集者 川村 英明



ごあいさつ

協議会会長

柳 利夫



53年対外試合総決算

(思多クラブ) 武谷千枝子

明けましておめでとうございます。  
 皆さまがたと共に新春を寿ぎたいと思います。

私たちの市民テが1973年5月3日に数名の仲間たちで産ぶ声をあげて以来、早や5年9箇月を経過して参りました。

現在では、12月受付の新会員を含め、二百数十名を擁する市内の一大組織として、深く地域に根ざした市民テニスクラブへと発展して参りました。これまでの組織化の状況から振り返ってみますと、創立当初私たちが想像したように、市内13町の全町名を冠した地域クラブが出来あがるのも時間の問題だと思えます。

しかし、このことは私たちにとり大きな喜びであり、誇りでもあると同時に、一方大変な悩みの種でもあります。例えば、コート施設がそれであり、さらに日常的な運営上の難しさが出てくることは避けられないからです。

これまでの市民テの歴史が示しているように、今後多くの困難に直面するようなことがあっても、私たちすべての仲間たちがしっかりとスクラムを組んで解決に当たっていかると思えます。

昨年の一年間を省みてみますと、あまりな順調さが、クラブ創立当初の2~3年に比べてまったくウソのようです。

私たちは、今年こそ初心に立ち返りコート上をも含めた運営面でのお互いの立居振舞いを、ぜひ考え直し、正していく一年にしていきたいと思えます。

私たちの市民テは、決して一人でもお客さん会員はつくらない、また必要としないクラブだからです。皆んなが日常の雑務を含めたクラブ運営に参画していくクラブであるはずです。

さらには会員各自の特性・特技・条件を加味し、遅しく創造していく必要に迫られてきております。

すべての会員の皆さん、私たちが入会時に示されたクラブでの約束ごとを、いま一度ぜひ思い起こしていただきたいと思います。極めて少数の会員ではありますが「どうしてもひんしゆくを買わずにはおれないおオ」が残念ながらいうっしゃるようです。

年頭の挨拶でこのようなことを申しあげましたことをお許し下さい。

今年もまた、そしていつまでも心とお付き合いができ、すべての会員の皆さんと何時も楽しくコートで過せることを心から期待いたします。

今まで、外の試合に出てみたいと思いながら、情報不足もあって、なかなか出る機会がありませんでしたが、昨年はそういうチャンスに恵まれ、私としては随分沢山の試合に出場出来ました。平日の試合には出場不可能なので、日・祭日が多くなり、市民テの練習を度々欠き、皆様にご迷惑をおかけしましたので、お詫びをかねて、言い分けに報告させていただきます。

1. 女子シングルス

- 1月 京王オープン 予選通過、本戦1回戦村野(滝山中央) 6-2, 4-6 で負け
- 3月 調布東宝 1回戦鈴木(上用賀ク) にフルセット、タイブレーク後負け
- 6~7月 北野アート ベスト8、優勝者の渡部(インカレ選手) にフルセット後負け
- 7月 毎日トーナメント 予選5回戦岩田(日女体大) に負け
- 11月 町田ロンオープン 準優勝、決勝は全日本出場の沼に 6-2, 0-1、大きな力の差を感ず。

2. 混合ダブルス

- 5月 フミヤオープン 1回戦第ニシードにフルセット後負け
- 8月 芦花公園オープン 優勝
- 8月 毎日トーナメント 2回戦、畠中・本村組 6-2, 1-6
- 9月 桜台オープン 1回戦勝ち後、仕争の都合で def.

3. 女子ダブルス

- 3月 川越オープン ベスト8まで
- 8月 芦花公園オープン 2回戦まで
- 9月 多摩社会人 ベスト8まで

4. 団体戦

- 6月 都民大会
- 11月 多摩婦人団体戦

一年を通じると東京選手権、関東選手権、毎日トーナメントと大きなものからはじまって、大沢杯、シンソソソ杯、高島屋、松坂屋のデパート主催のローズ杯、カトレア杯、女子連主催の桑名杯、それに各民間テニスクラブ主催のオープントーナメント等々、私達一般人が出られる試合は数限りなくありますが、女子の試合は平日が多く、特に女子ダブルスの場合上記以外は全部平日だったので、シングルスに出場する事が多くなりました。シングルスではこの頃の学生は非常にレベルが上がってきて、 (ウラ左下へ)

# 私とテニス 連載15

(思多クラブ) 藤井真人



このテニスクラブにお世話になって二年半が過ぎました。私のテニス歴は、軟式をやっていた時期を加えると、途中にブランクはありながらも七年程になります。中学、高校時代、軟式テニス部に入っていた時は、それこそ、明けでも暮れてもテニス、テニスで、夏休みはもちろん、毎日学校のコートで練習していました。この頃は、夏場に日焼けした顔が、冬になってもさめず、一年中マツ黒でした。おかげで、カゼをひきやすかった体も丈夫になり、充実した中学、高校生活を送ることができました。しかし、戦績の方はというと、試合内容は納得のいくものも幾つかはありますが、なかなか上位へはくい込めず、必ずしも満足の得られるものではなく、少々残念に思っています。

このクラブに入会させて頂いた時、軟式から硬式へ転向したのですが、最初はやはり少しは不安でしたし、軟式への未練もありました。硬式に移った理由としては、私は軟式時代に、前衛をやっていたので、ダブルスの時に前と後の両方をやってみたかったということ、硬式にはシングルスがあること、等があります。しかし、実際に軟式と硬式の両方を経験してみても、実感することは、両方ともその根本的なところでは、ほとんど同じであるということです。私の場合、技術員、また他の方々のおかげで、非常にスムーズに転向することができました。

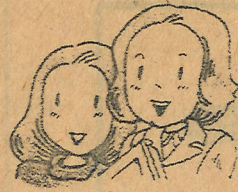
テニスは非常にメンタルな面が多いスポーツだと言われます。私はいつもこの言葉を痛感します。テニス程この精神的な面が、敏感にプレーに影響するスポーツも珍しいと思います。フォーム、試合の流れ、配球など、どれをとってみても、心が安定している時と、乱れている時はもちろん、ちょっとした心境の変化でも、全く違ったものになります。技術を向上させることは、言うまでもないのですが、練習に於て、精神的な充実、具体的には自分のプレーに対して、自信をつけることも大切だと思います。

今迄にも、私はいろいろなことを、テニスを通して学んできました。このスポーツは、これから是非続けて行きたいと思います。

このようなわけで、東村山市民テニスクラブに、この先もお世話になることと思います。人生まだ二十年余りゆえ、クラブの皆様にもご迷惑をおかけすることもあろうかと思いますが、よろしく御指導お願い致します。

~~~~~ (オモテ右下) 基礎がきちんと出来ている上にきめ球を持っている人が多くなって来ています。町田ローンで準優勝出来たのはそういう学生がいなかったからで、つなぎだけの人には大丈夫という自信はついてきました。私も今後決め球やアプローチショットの確実性、苦しいボールを深くつなげる技術を身につけていきたいと思っています。ダブルスはシングルスと違ってとても楽しいので、沢山出たいのですが、出場者に主婦が多いせいか近年ますます平日が多くなっていて残念です。

試合に出ると学ぶ事も多く次の目標も出来、練習の励みになります。一回の試合は半年分の練習の成果があるとベテランの方がおっしゃっていました。市民テのお方も機会をみつけてどんどん試合に出られたらいいかでしょうか。あの試合はああだった、こうだったと市民テの中でも話が出るようになれば本当に楽しいでしょうし、我々クラブのレベルアップにもつながっていくのではないのでしょうか。



# 秋季大会で初優勝して

(思多クラブ) 木村美代子

日曜の朝、雨戸を開ければ軽く弾んだボールの音が聞えます。目の前にテニスコートができ、恵まれた環境のもとで休日を思いきり楽しく過ごす事ができ、大変幸せに思います。

去年は、秋季大会でシングルス、ダブルス共に優勝でき、私にとって最高の年となりました。当日はあまりのうれしさに興奮し、夜もなかなか眠れないほどでした。思いもよらない事で今でも信じられない気持です。会員の皆様のお蔭と感謝の気持で一杯です。本者にありがとうございました。春の大会の時、シングルの試合で途中スタミナがなく、一回戦で簡単に敗れ、悔しかった事を思い出し、秋季大会の始まる一ヶ月ほど前から、十分位軽く走り続けました。そのせいか試合の最後まで疲れを知らず、今迄なら当然諦めていたネット際のボールにも追いつき返す事ができたことなど、やはり日頃のトレーニングの大切さをあらためて知りました。

学生時代は卓球クラブに入り、友達とテニスクラブで楽しんでいるのを見て、その頃からテニスに憧れていました。やがて子供が小学校に入学した頃、市の硬式テニス教室に参加し三日間の指導を受けました。初めて持ったラケットでしたが、その楽しさが忘れられず、クラブに入りたく色々問い合しましたが受け入れられず、夢にまで見る始末。やっとの思いで半年後幸運にも現在のクラブに入会する事ができました。その時のうれしさは今でも忘れる事が出来ません。

その後は「テニス狂」そのもの、休むことなく練習に通り続け、肘を痛め掃除のハタキさへ使えず、通院の結果、半年のストップを言い渡されました。晴れた日の日曜などいら立つ思いで、半年間が大変長く感じました。幸い今は健康には自信があり、勤めもあり、休みの日は色々家事その他雑用に追われ忙しい思いをしておりますが、テニスの楽しさで、疲れを感じることもなく張りのある毎日です。試合の時など緊張の為、足がガクガクし思い切ったプレーが出来ず、情なく思いますが、今後機会があれば対外試合などにも参加し、この様な事を少しでも解消する様にしたいと思っています。ストローク、ボレー、サービスなど思う様にならず、溜息をつき悩んでおりますが、もう一度基礎から練習し、また新しい目標に向かって頑張りたいと思います。

「親子でダブルス」など夢見て、昨年子供も入会させて頂き、私同様全く初心で、親子でお世話になる事を申し訳なく思っています。子供もやはりテニスが好きで、まじめに頑張っております。今後とも、親子共々どうぞよろしくお願いいたします。

編集後記

明けましておめでと  
うございます。昨年一  
年間、多くの方々の御協  
力で毎月定期発行する  
ことができました。市民テ  
の発展にそっていろいろ紙  
面も工夫をこらさねばと感じ  
ております。御協力ありがとうございました。

